



下大和田谷津田だより



2005年 1月号

第59回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

12月 5日 晴れ

台風以上の大荒れの後、風は強いながら晴れ、フェーン現象で夏のような暑さとなりました。今回は「ちば里山センター」のイベント“里山1日活動体験”の参加者を交えて観察会をしました。小西ちば環境情報センター代表の下大和田谷津田との関わりの話、田中正彦瀨橋高校教諭の谷津田の成り立ちの話の後、観察を始めました。スタート早々ノスリが名前どおり野を擦るように降りる姿が見られ、野原に降りている姿、斜面林にとまっている姿、飛んでいる姿と見る事が出来ました。気温もあがって越冬するチョウなども舞い、メダカも姿を現していました。定例コースを一巡した後、カヤネズミの巣探しをし、5分ほどの間に数個の巣を見つけました。「ちば里山センター」で初めて来られた方は長靴でない方もいらして、軟弱な足元に難渋されていましたが、本来の谷津田の環境というものは理解していただけたのではないのでしょうか。その後、斜面林へ入ってクラフト用のフジづるに目星をつけて昼食。午後はクラフト制作、つる籠、リース、シュロの葉のバッタ、どんぐりトトロ、セイタカアワダチソウの簾作りなどを楽しみました。

開花植物：シロヨメナ、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、ハキダメギク、コシロノセンダングサ、キツネノマゴ、カタバミ、ウシハコベ。

昆虫：ウラギンシジミ、キチョウ、コバネイナゴ、トゲヒシバツタ、ヒシバツタ、オンブバツタ、カメムシsp 2種、ヨコズナサシガメ幼虫コロニー、ケラ、杉皮の下のホソアシナガバチ越冬集団、ルリ色のハムシsp。

野鳥：ノスリ、モズ、エナガ、ウグイス、ヒヨドリ、アオジ、カシラダカ、シジュウカラ、メジロ、カワセミ（開始集合前）。

その他：ニホンアカガエル、カナヘビ、メダカ、アメリカザリガニ、ヨコエビ、カワニナ、マルタニシ、オオタニシ、イオウイロハシリグモ、他クモ数種。カヤネズミの巣

（参加者：大人18人、子ども3人；報告：網代春男）

第43回谷津田プレラント・プロジェクト(YPP)

「古代米のもちつき」

12月26日 晴れ

晴れ渡った谷津田には年末にもかかわらず、大人から子ども、そして海外からの留学生を含め、大勢の方が集まりました。ついたのはいつもの緑米（古代米の一種）。今年はこれまでで一番広い面積を植えたのですが、異常なほどの数来襲したスズメに食べられてしまい、収量はたったの17kg。100kg近く期待していたのですが... それでももちつきには十分な量で、3升のお米をみんなで順番につきました。きなこ、あんこ、大根おろし、納豆、お雑煮とさまざまな味わいのお餅。谷津田で食べるのは格別で、みんなニコニコ、体も心もあたたまりました。お腹が一杯になったあとは、谷津田の自然観察やクイズ、ゲームをして過ごしました。きんかんの種とばし競争では子どもはもちろん、大人も真剣な顔つきで記録に挑戦し、たいへんな盛り上がり。ちなみに最高記録はなんと6mを超えました！一年の締めくくりにふさわしい、楽しい一日でした。



（参加者：大人33人・小中学生15人・乳幼児2人、報告：高山邦明）

下大和田季節のたより

12月11日：枯れ草にぶら下がったオオアオイトトンボの死骸にトンボの季節の終わりを感しました（高山）。

12月14日：ヨシやセイタカアワダチソウの中の柳にベニマシコをみましました。カシラダカもいました。ツグミの仲間の声も一声聞きました。冬鳥が揃ってきたようです（網代）。

12月19日：暖かさに誘われて、今日下大和田に写真を撮りに行ってきました。この暖冬を象徴するかのよう、イネの2番穂はまだ緑でとても冬とは思えぬ田んぼの様子でした。1尾だけでしたが、コバネイナゴも見つけました（田中）。

12月23日：氷点下に冷え込んだ谷津田に霜があり、一部で氷が張っていました。ようやくいつもの冬到来です（高山）。

新年おめでとうございます。2004年は田植えで皮膚炎が発生したり、異常気象で刈った稲の乾燥が遅れたり、はたまたスズメを肥やしてしまったりと話題の多い一年でした。それでもたくさんの皆さんが下大和田を訪れて下さり、YPPの活動を進めることができました。今年もスタッフ一同、張り切って楽しいイベントを開催していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひします。

高山邦明